

JICA 開発大学院連携プログラム（各大学におけるプログラム）概要

大学名	国際大学（IUJ：International University of Japan）
研究科名	国際関係学研究科：（GSIR：Graduate School of International Relations） 国際経営学研究科：（GSIM：Graduate School of International Management）
研究科の特色	国際関係学研究科（GSIR） https://www.iuj.ac.jp/jp/graduate/gsir/our-mission/ 国際経営学研究科（GSIM） https://www.iuj.ac.jp/jp/graduate/gsim/our-mission/
プログラム概要	<p>日本・グローバル開発学プログラム（JGDP：Japan-Global Development Program）は、国際関係学研究科修士課程と国際経営学研究科修士課程の共同プログラムで、日本の経済発展と企業成長を主なケース材料として、普遍性のある発展と成長の論理を政治・経済・経営の分野にまたがって学ぶ機会を提供するプログラムです。日本の経済発展の背後にある経験から論理と教訓（成功例、失敗例の両面）について学び、自国の経済発展戦略を考えるための知識とスキルを修得することで、母国発展の政策人材を育成することを目的としています。日本型開発の経験について体系的に履修できるだけでなく、本学が提供する5つの学問分野（「外交政策」、「経済政策」、「開発政策」、「公共経営」、「経営」）から1つを選択し、専門的知識を学ぶことができます。本学が初めて導入する国際人材育成プログラムで、以下の点を特長としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 留学生が、日本の経験の背後にある論理と教訓（成功例、失敗例の両面）を学び、自国の発展戦略を考えるための知識とスキルを修得する。 2. 日本人学生が、英語で日本の発展の論理や教訓を学ぶことにより、グローバルな視点から日本のよさを海外へ発信する能力を養う。 3. 将来、国際場で活躍する学生が、日本の経験をケース材料として、国の発展と企業成長の普遍的論理について学ぶ。
「日本の開発経験に関する講義」の概要	<p>国際関係学研究科 JGDP 関連科目</p> <p>戦後の日本政治 経済発展のパターンに影響を与えた日本の政治システムを一般的に紹介することを目的としています。</p> <p>日本の安全保障政策 1868年の明治維新後の日本の開発への影響の文脈における、第二次世界大戦後の国家安全保障政策の基本的要素とその起源と背景を包括的に理解します。</p> <p>日本の国際関係と外交政策 戦後の日本の外交政策とその開発への影響を、国際的な構造とシステム、国内政治、個々の指導者などのさまざまな視点から理解します。</p> <p>日本の対外援助政策 日本の開発とODAの経験に光を当て、日本の対外援助について学びます。</p> <p>※国際協力機構（JICA）と共同で提供されるコースです。</p>

	<p>日本の財政と行政 日本の財政と行政のシステムを分析します。中央政府と地方政府の役割を調べて、税制、地方交付税制度などを通じた公的資金の流れを明らかにします。</p> <p>80年代までの戦後日本経済 第二次世界大戦後の経済発展のプロセスと政策に特に重点を置いて、戦後の日本経済を研究します。</p> <p>国際政治経済と日本発展の軌跡 国際政治経済における日本の変革に焦点を当てて、日本の政治経済がどのように前近代、明治の異なる国際環境に適合するように設計されたかを学びます。</p> <p>世界の中の近代日本 比較的孤立した時期を経て日本が国際交流を始めた 19 世紀から第二次世界大戦の終わりまでの、日本の世界との相互作用を検証します。</p> <p>日本の教育システム 教育は、特に発展途上国にとって、個人レベルと国レベルの両方で成長するための重要な要素です。日本の政策に特に焦点を当てた教育経済学の分野を紹介します。</p> <p>国際経営学研究科 JGDP 関連科目</p> <p>日本の雇用慣行と人的資本の蓄積 日本のいくつかの慣行と事例に焦点を当て、特に発展途上国と活性化国に慣行を適用するために、日本の開発段階を強化した人的資本分野の業界知識を学びます。</p> <p>日本の中小企業 日本の現代経済発展の歴史をいくつかの時代に分け、中小企業がどの程度発展したかを学びます。</p> <p>日本的経営と企業統治 第二次世界大戦後の社会的混乱の中で設立され、典型的な教科書モデルとは異なる独自の日本式の経営システムについて学びます。</p> <p>日本の企業金融と金融システム 日本の企業/経済パフォーマンスと歴史的背景における金融インフラのサポートとの関係について学びます。</p> <p>※以下の3科目については、後日、詳細を掲載予定</p> <p>日本のビジネスリーダー、日本のものづくり経営、日本の産業発展</p>
<p>関連 URL</p>	<p>日本・グローバル開発学プログラム (JGDP)</p> <p>https://www.iuj.ac.jp/jp/graduate/gsir/ir_index/jgdp/</p> <p>https://www.iuj.ac.jp/jp/graduate/gsim/im_index/jgdp/</p>
<p>プログラムの魅力紹介</p>	<p>受講生の声</p> <p>「日本の中小企業と開発への影響」(2018 年秋学期)</p> <p>を受講したインドネシア人学生の感想</p> <p>日本の中小企業は経済に大きな影響を与えるため、政府は中小企業の発展のために、</p>

支援金の供給やネットワークの構築等を促進する政策を行い、大きな成功を収めました。各国の中小企業も急速に成長しており、それに関する各国の状況を日本の政策等と比較しながら、20以上もの国の学生同士で意見交換することができたことは非常に貴重な体験でした。また、各国の JICA で勤務経験のある教授の講義であったため、各国の行政機関の違いを学ぶことができ、大変有意義でした。

「国家安全保障政策とその開発への影響」(2019 年冬学期)

を受講した日本人学生の感想

この講義では、日本の日米同盟や核兵器禁止条約のような国家安全保障政策について必要な知識を学ぶことができました。またアメリカと北朝鮮の交渉の模擬体験など貴重な体験もできました。日本人である私にとって、日本の安全保障政策に関する面で新しい見通しを得ることができ、外国人留学生から見た吉田ドクトリンのような日本の政策に対して意見交換できたことは、とても貴重な時間でした。私がこの講義で学んだことは必ず近い将来、国家安全保障について英語で議論するとき役に立つでしょう。

「日本の産業の発展とその背後のイノベーション」(2019 年春学期)

を受講したインド人学生の感想

この講義は私に、読むこと、考えること、知識を生かすことを教えてくれました。ケーススタディの教材を熟読し、それらについて考えを巡らし議論する中で、将来自国で何ができるかを模索しました。日本産業の成功経験と失敗経験を分析し、日本の産業を世界一にした方法を学びましたが、特に、半導体産業が印象的でした。半導体産業は過去の成功例と失敗例を比較し、イノベーションを強化し、半導体産業の地位上昇へと導きました。さらに、自動車産業に技術を提供し、トヨタ、日産などの日本の自動車メーカーの地位を世界一へと押し上げました。そういった産業発展の歴史、知識を単に学べただけでなく、教授（センセイ）と学生のディスカッションというユニークな方法の中から見出せたことは、大変素晴らしい体験でした。

受験者へのメッセージ

国際大学では、「日本を学ぶ」ことも大いにできる環境を整えています。日本の発展の背後の論理を学び、それを学生の母国の発展に役立てるために、日本・グローバル開発学プログラム 16 科目の授業が、全学のすべてのプログラムの学生に開放されています。このプログラムは、日本専門家を育成するためのものではありません。将来各国のリーダーとなることが期待されている留学生達が、母国発展の政策／戦略立案に携わるとき、日本の発展と開発の経験の論理と教訓を学んだことが、大いに役立つと私たちは考えます。日本の発展と開発の背後にある論理が、グローバルシーンに適用され、国や企業の発展に役立てられる、それが、このプログラムを「日本・グローバル開発学プログラム」と名付けた理由です。英語で日本関連の科目をこれだけ履修で

<p>きる大学はとてもユニークです。みなさんも、このユニークな大学の一員となり、グローバルなリーダーになるための勉強をしてみませんか。</p>
